
ユニファイドコミュニケーション(UC)とは

2013年7月

株式会社アイ・シー・アイ

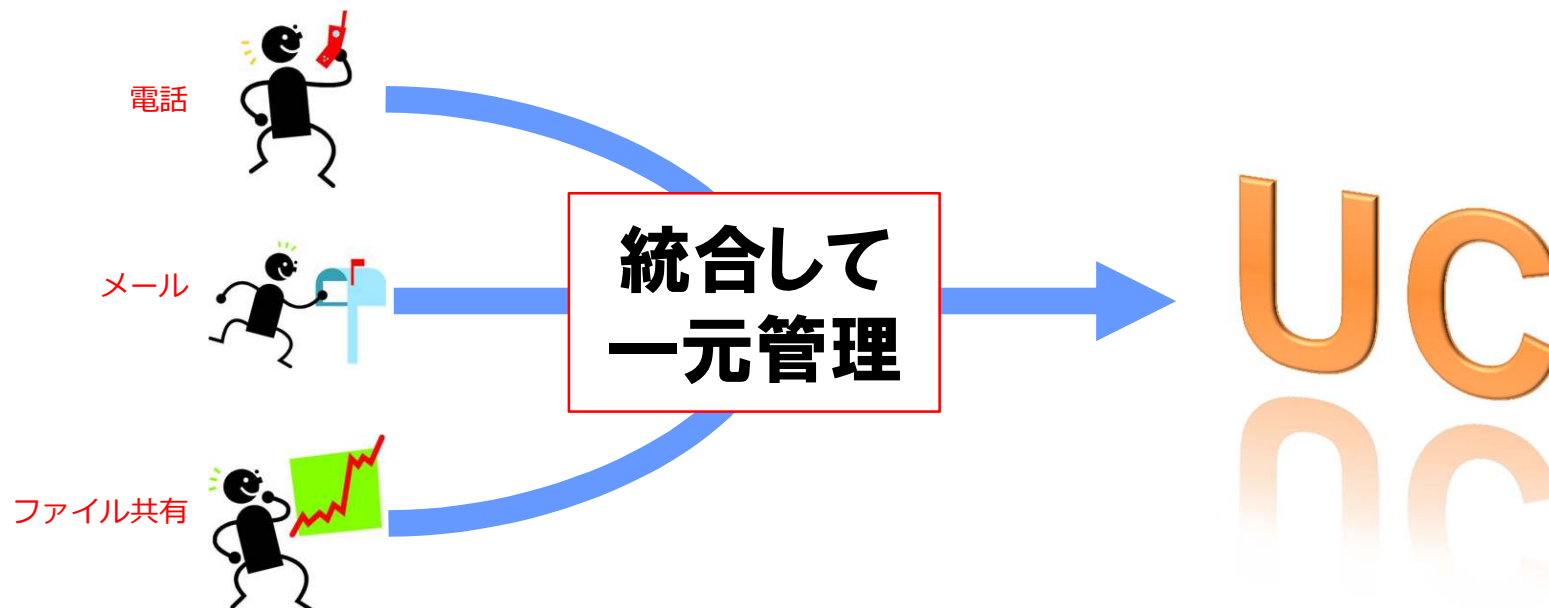


ユニファイドコミュニケーションとは？

ユニファイドコミュニケーションとは？

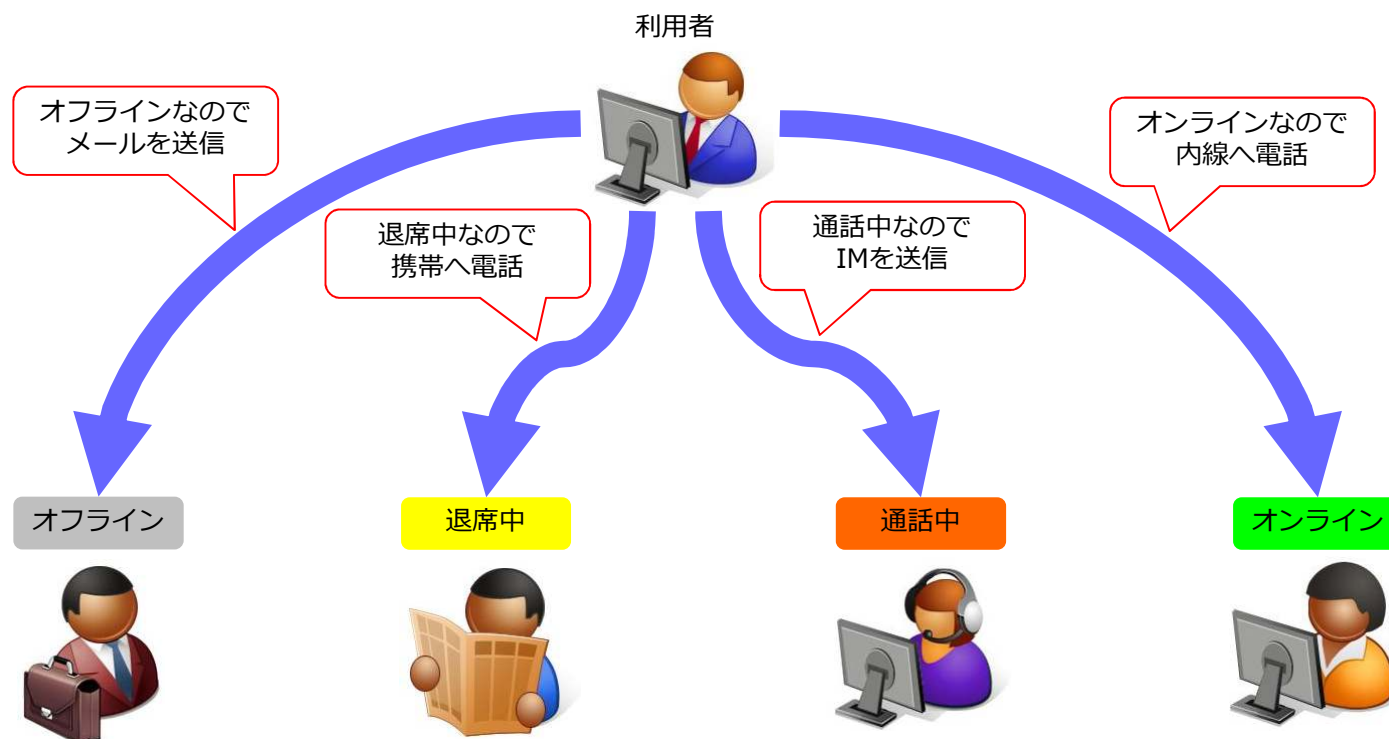
ユニファイドコミュニケーション(以下、UC)とは、電話や電子メール、インスタント・メッセージなどの様々な通信手段を統合して利用できる技術のことです。

状況に応じて最適な連絡手段を選択したり、または組み合わせて利用できることが特徴です。



UCの利用例

利用者は相手のプレゼンス(在籍情報)によって、通信手段を柔軟に選択することができます。
これにより、不在着信や伝言メモなどの無駄な作業を削減することができ、業務の効率化や生産性向上に繋がります。



UC製品の紹介と特徴について



主なUC製品を以下に紹介します。
UC製品と一口に言っても、サービスの提供方法は異なり、サーバを自社運用するタイプのオンプレミス型や、Internet上からサービスを提供するクラウドタイプのものまで様々です。
利用者の業務環境に合わせて、適切な製品を選択します。

UC製品名	Microsoft Lync	Cisco UC (jabber)	Google Apps	Apple FaceTime
提供形態	オンプレミス	オンプレミス	クラウド	クラウド
IM※1チャット	○	○	○	○
音声会議	○	○	△※4	○
ビデオ会議	○	△※3	△※4	○
Web会議	○※2	△※3	×	×
プレゼンス (在籍情報)	○	○	○	×
ファイル共有	○※2	×	○	×

- ※1. インスタントメッセージング (Instant Messaging)
- ※2. Microsoft Lync Server 2013 以降で利用可能
- ※3. ビデオ会議は「Telepresence」、Web会議は「WebEx」のポートフォリオ導入が必要
- ※4. 通信を行う双方のPCにおいて、プラグインのインストールが必要

UC製品のメリットと課題について①



UCの代表的な製品として、最新の「Microsoft Lync Server 2013」を例に挙げて、メリットとデメリットを紹介します。

➤メリット

- PC接続で利用する電話やビデオ用カメラなどのサードパーティー製品に対して、制限が特に無い。
⇒製品によっては、専用のハードウェアが必要な場合がある
- 現在UCとして求められる機能が、オプション追加無しで全て利用可能である。(前ページ参照)
- 「Skype」との連携が可能に。(2013/5/29開始)
⇒LyncアプリやOffice製品が導入されていないPCとの通信が可能になり、SkypeユーザーもLyncのエンタープライズ機能が体験できる

➤デメリット

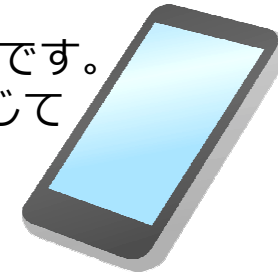
- この製品専用にサーバーを構築する必要があるため、利用開始まで時間と費用が掛かる。
- トラブルが発生した場合、利用者側での対応が難しい。
⇒Microsoft社のサポートまたは、構築業者への問合せが発生

UC製品のメリットと課題について②

一般にはあまり普及していないと思われるUCですが・・・

→ **実は既に使われているUC機能！**

それはスマートフォンに代表される多機能携帯電話を利用している時です。音声・ビデオ通話、メール、ブラウザを利用したSNS※等を状況に応じて使い分けているため、これもUCと言えます。



教育機関、病院、ホテル、福祉の現場などでは課題が明確なため普及が進んでいますが、一般オフィスではメリットを定量的に測りにくいため導入が難航しているのが現状です。



※. ソーシャルネットワークサービス。(代表的なものでは「mixi」「facebook」など)

UCの普及に向けて、以下のような取り組みが検討されています。

▶電話回線交換装置からの解放

⇒UCから外線への発信、また外線からの受信では、IP-PBX※という電話回線交換装置を使う場合が多く、この導入にコストが掛かることがデメリットの1つとなっています。

そのため、通常の電話回線を使用せず、インターネット回線だけで通話可能な環境の整備が必要とされています。

▶クラウド化への促進

⇒クラウド上からUC機能を提供している製品はありますが、殆どの場合小規模な環境向け製品であることが多いです。

光通信網の普及によってインターネット回線の高速化が進んでいることを利用して、大規模・大容量な環境向けUC製品の登場も期待されています。

※. 回線交換装置。IPネットワークと電話交換装置の中継を行うため最近広く利用されている。

